

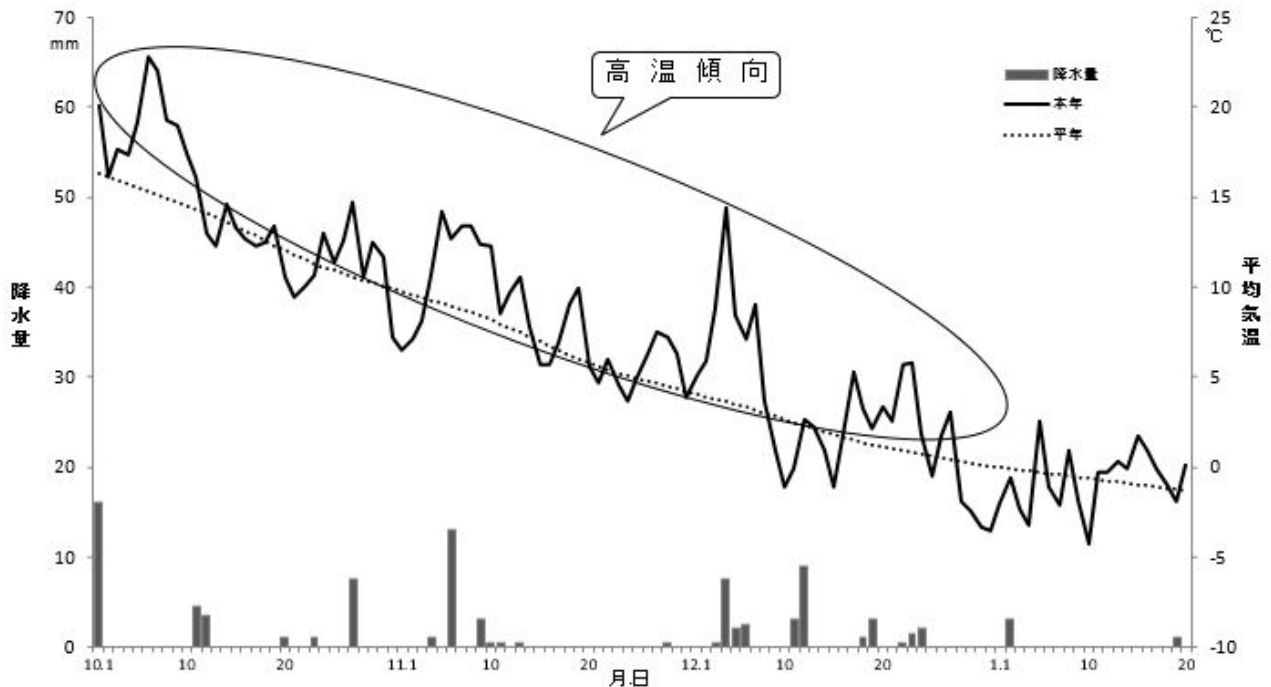
平成31年1月30日

農業協同組合米穀生産指導担当者様
全農長野生産事業部米穀課担当者様
全農長野中信事業所生産販売課米穀担当者様
関東農政局長野支局松本地域センター担当者様
長野県農業共済組合中信地域センター
松塩筑支所、安曇野支所担当者様

松本農業改良普及センター技術係作物担当

平成31年 作物技術普及情報第1号 (麦の生育状況と越冬後1回目の追肥について) (5枚 送付)

平成30-31年 気象経過(穂高アメダス 10月1日~1月20日)現在



1 気象状況

- ・ 10月上旬及び11月中旬~12月上旬には、高温で経過しています。
- ・ 10月~1月中旬までは全般に降雨が少ない状況です。

2 現在までの生育状況

【播種状況】

- ・ 水稲後圃場で10月上旬から順次播種作業が開始されており、10月末に播種最盛期となったため、大半は昨年度よりも越冬前生育量は確保されている。
- ・ 10月中~下旬の播種では12月上旬時点で3~4葉期以上を迎えている。

【越冬後の生育状況】

1月下旬の生育状況は、概ね以下のとおりです。

【 越冬後（1月下旬）の生育状況】

播種日	葉令	分けつ（本/株）	生育	備考
10月中下旬	4. 5葉以上	3本前後	良～過繁茂	中～多
11月上旬	3～4葉前後	1～2本	良好	中
11月中旬以降	2葉前後	無	やや不良	少

※生育状況は定点圃場（播種日：10月30日、播種量：5kg/10a）データに基づく推定

※目標とする越冬前の麦の生育状況は、葉数4～5枚、茎数3本/株です！

3 越冬後の1回目の追肥について

1回目の追肥：越冬後～茎立期追肥（目的：茎数確保→穂数確保→収量確保）

2回目の追肥：止葉展開期追肥（目的：粒の肥大・タンパク向上による品質向上）

の2回の追肥が麦栽培の基本です。

追肥時期	生育回復	茎数増加	穂数増加	1穂着粒数	収量向上	粒の肥大	タンパクの向上	空洞粒の減少	倒伏増加
越冬後	◎	◎	◎	△	◎	—	—	△	●
幼穂形成期	△	○	○	○	◎	—	—	△	●
茎立期	—	△	△	○	◎	△	△	△	▲
止葉展開期	—	—	—	△	△	◎	◎	○	—

注)◎:効果大、○:効果やや大、△:効果あり、—:効果なし、●▲は悪影響

- 「越冬後の1回目の追肥」が収量確保のために重要なので、生育量にあわせた追肥をお願いします。越冬後の生育量と越冬後1回目の追肥時期・量については表1をご参考ください。

- 積雪により生育の判断が難しい場合は、越冬後の麦生育チャート「越冬後m²当茎数と1回目追肥時期・量の目安」を判断の目安としてご活用ください。

カラー版は、普及センターのホームページからダウンロードしてご利用ください。ダウンロードができない場合は、普及センターまでご相談ください。

- 平成30年播種麦の越冬後（茎立期）追肥のポイント

＜大麦＞ 過繁茂＋黄化した場合→越冬後追肥まで間がある場合は、N1kg/10a程度の追肥を目安にします。葉色回復後は、遅め・少なめを基準に実施しましょう。

＜小麦＞ 遅め、少なめを基準とします。生育状況によっては、追肥一発肥料ではなく、分施肥体系の検討もお願いします。

表1 越冬後の生育量と麦の1回目追肥時期・量の目安

生育状況	越冬後の茎数 (2月中旬～3月上旬)		追肥時期 追肥量 N:kg/10a (硫安kg/10a)		摘要
	見た目	m ² あたり茎数			
極少	2葉程度(出芽したが分けつしていない)	200本以下	2月末 N 4～5 (20～25)		追肥量を増やし、時期も早めて 茎数を増やす → 穂数確保
			2月末 N 3 (15)	3月中旬 N 1～2 (5～10)	
少ない	3cm幅位の带状 所々とぎれている	200～300本 前後	3月初旬 N 4 (20)		追肥量を増やし、時期も早めて 茎数を増やす → 穂数確保
やや少ない	3cm幅位の带状	400～500本 前後	3月上旬 N 4 (20)		追肥量を増やし、時期も早めて 茎数を増やす → 穂数確保
並 (良好)	5cm幅位の带状 所々とぎれている	600～700本 前後	3月上～中旬 N 3 (15)		適正穂数確保と穂の充実
並(良好)	5cm幅位の带状	700～800本 前後	3月上～中旬 N 2 (10)		適正穂数確保と穂の充実
多い	10cm幅位の带状	1,000本以上	3月中旬 N 1～0 (5～0)		追肥量を減らし、時期も遅らせる。 場合によっては追肥しない。 → 茎数過多・過繁茂の抑制

※ 2回目の追肥は、止葉展開期の生育状況(茎数)に応じて、窒素成分で2～3kg/10a施用します。
(「ゆめかおり」は、出穂後に窒素成分で3～5kg/10a施用。)

4 一施肥二鳥・麦追肥1発肥料を用いた省力追肥について

2回目の止葉展開期追肥をしない省力的な体系です

越冬後の生育状況が平年並みの場合 (/10a)

	施肥体系	◎ 1回目の追肥 (越冬後 3月上中旬)	◎ 2回目の追肥 (止葉展開期:4月末～)	追肥窒素合計
慣行体系	基肥 BB or エルちゃん + 慣行追肥 体系	N 2～4kg 硫安 10～20kg	N 2～3kg 硫安 10～15kg	速効N 2～4kg 速効N 2～3kg
省力体系	基肥 BB or エルちゃん + 麦追肥一発 体系	N 6 麦追肥一発肥料 20kg	まかない	速効N 3.2kg 緩効N 2.8kg
省力体系	基肥 一施肥二鳥 + 追肥 1回 体系	N 2～3kg 硫安 10～15kg	まかない	速効N 2～3kg 緩効N 2.7kg

※追肥一発肥料は「ゆめかおり」には、30kg施用する。…速効N4.8kg、緩効N4.2kg

※ 一施肥二鳥は、基肥に45kg施用したとして計算。

越冬後の生育状況が極少の(分けつしていない)場合 (/10a)

	施肥体系	◎ 1回目の追肥 (越冬後2月末まで)	◎ 追肥一発の追肥 (越冬後3月中旬)	◎ 2回目の追肥 (止葉展開期:4月末～)	追肥窒素合計
慣行体系	基肥 BB or エルちゃん + 慣行追肥 体系	N 4～5kg 硫安 20～25kg	—	N 2～3kg 硫安 10～15kg	速効N 4～5kg 速効N 2～3kg
省力体系	基肥 BB or エルちゃん + 麦追肥一発 体系	N 4kg 硫安 20kg	N 4.5 麦追肥一発肥料 15kg	まかない	速効N 6.4kg 緩効N 2.1kg
省力体系	基肥 一施肥二鳥 + 追肥 1回 体系	N 4～5kg 硫安 20～25kg	—	まかない	速効N 4～5kg 緩効N 2.7kg

※追肥一発肥料は「ゆめかおり」には、25kg施用する。…速効N8.0kg(硫安込み)、緩効N3.5kg

※ 一施肥二鳥は、基肥に45kg施用したとして計算。

麦追肥一発 : N-P-K=30-0-0(塩安 53%、セラコートR15 47%)

一施肥二鳥 : N-P-K=23-15-12(速効性N 50%、LPS30N 50%)

- 一施肥二鳥・麦追肥一発肥料を使用する場合の注意点【ご不明な点は、普及センター作物担当までご相談ください】

★ 基肥に、一施肥二鳥を使用している場合 ★

① 平年並みの生育の圃場

茎数確保のため、越冬後の生育状況にあわせて、1回目の追肥に速効性窒素を2～3kg/10aを施用してください。

② 生育状況が極少の（分けつしてない）場合

1回目の追肥に速効性窒素を4～5kg/10a施用してください。

★ 追肥に、麦追肥一発肥料を使用する場合 ★

① 平年並みの生育の圃場

施肥量は基準量とし、施肥時期は生育状況に応じ、表1の追肥時期に準じてください。

② 生育状況が極少の（分けつしてない）圃場

2月末までに速効性窒素を4kg/10a施用し、3月中旬に追肥一発肥料を15kg/10a（「ゆめかおり」は25kg/10a）施用してください。

5 【追肥上の注意事項】

- 1) 塩安を使用する場合、硫安より窒素成分が高い（25%）ので、まき過ぎに注意して下さい。

N5kg→塩安 20kg、 硫安 25kg	N4kg→塩安 16kg、 →硫安 20kg	N3kg→塩安 12kg、 →硫安 15kg	N2kg→塩安 8kg →硫安 10kg
--------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------------

2) 積雪時の麦追肥について

- ① 麦の生育状況を見てから追肥時期・量を判断してください。

積雪で判断が難しい場合は播種時期と麦生育チャートをご参考ください。

- ② 基本的には雪がとけてから追肥してください。

- ③ 雪どけを待つと追肥時期を逃す場合や、雪どけのぬかるみや停滞水で、施肥作業が困難になる場合は、圃場状況を見て作業が可能なら、多少の積雪があるうちに追肥を行っても差し支えありません。

この場合、ほ場での播きムラにご注意ください。また、積雪中での作業になるので、用水路や圃場への転落・転倒に十分注意して作業してください。

ブロードキャスター等で追肥作業する場合は、雪や土の締まっている午前中に作業してください（作業時のぬかるみ防止）。

6 湿害対策

- ・ カミ雪のように一時的な大雪の場合は、その後の降雨や気温上昇に伴い、一気に融雪して圃場が湛水してしまう場合があります（写真）。

このような圃場は湿害を受けやすくなります。これからカミ雪の季節を迎えるので注意が必要です。

- ・ 水口は止まっているか（水路からの雪解け水の流入防止）、排水口・排水路は詰まっていないか（圃場の停滞水防止）を今一度確認していただき、湿害対策に万全を期していただくようお願いします。

